

介護助手さんにインタビュー ③



Q1 福祉の業務経験や福祉の資格について教えてください。

夫婦で60歳になるまで40年近く園芸店の自営業をしていたため、介護の資格及び経験はありませんでした。自営業を辞めた後は、園芸店での経験を活かし、野菜等を作ってJAで販売をしていました。

プロフィール

- ・年齢：67歳
- ・性別：女性
- ・勤務年数：2年11か月

Q2 介護助手になろうと思ったきっかけは？

ビニールハウスが無かったため、冬の野菜作りは難しく、売り上げもよくない状況でした。

そんな時に、新聞で元エンジニアの方が介護の資格を取得し、ヘルパーとして楽しく働いているという記事を見て自分もやってみたいと思い、介護助手に応募しました。

Q3 今担当している業務は何ですか？

- ・ 月曜日～水曜日：食事の準備、居室等の清掃（3階～6階）、ベッドメイキング、洗濯
- ・ 金曜日：食事の準備、入浴時の着脱等の補助、洗濯
- ・ 土曜日：記録、洗濯



Q4 勤務日数や勤務時間について教えてください。

週5日 4時間/日

Q5 一日の流れを教えてください。（出勤から退勤までの業務時間と内容）

7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00



7:00
・出勤
・朝食の配膳・下膳等

9:00
・月～水：居室清掃等
・金：入浴介助・洗濯
・土：記録

12:00
退勤

Q6 介護助手として働く中で、感じたこと・仕事のやりがいは？

①利用者との関わりを通じて感じたこと

入浴後の利用者の方々はととてもリラックスされていてお手伝いをするとうれしく喜ばれるのでうれしく思います。年齢的に自分の親世代の方が多いので、会話も弾みます。

②同僚の介護助手との関わりで感じたこと

当初、介護助手と呼ばれる職員は自分一人だけでしたが、その後、介護助手の仲間が増えていきました。仕事の分担については、誰かが一つの仕事だけをするのではなく、バランスよく分担することで、お互いの悩みや気づきを相談しやすくなりました。

③業務の中で感じたこと

利用者の状態は年々変化しており、業務量もそれに応じて変わっていきます。例えば、シーツ交換においても、介護度が上がると使用するシーツも種類が増えていきます。そこで、まずは同僚の介護助手と話し合い、その上で介護主任に相談し、業務内容を改善していただくことができました。

このように現場での気づきを気軽に相談しやすい環境なので、ボトムアップを心がけて、出来るだけ負担が大きくならないように意識しています。自分の負担にならない範囲で、有資格の介護職員に口腔ケアやおむつ交換の方法等を教えてもらっています。これから先、何年働けるかわかりませんが、段々とできることが増えていくのは面白いなと感じます。

Q7 介護助手に興味がある方へのメッセージをどうぞ！

これからの日本は、少子高齢化が進み、経済も苦しくなるのではないかと思います。そうした中、私たちの世代が出来るだけ働き、元気でいることが大切だと思います。

介護助手の仕事は、家事や育児で培ったノウハウを生かせる仕事だと思います。また、頭も体も鍛えられるので、働く前より元気になりました。年を取ることを嫌と思わず、一緒にチャレンジしてみませんか？

